

私立大学図書館協会2002年度東地区部会総会

議事要録

日時 2002年6月7日(金) 10:00-12:00  
会場 武蔵工業大学環境情報学部(横浜キャンパス)3号館FEISホール  
開会の辞 司会者(会場校) 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンター 君塚 三智子  
開会の挨拶 部会長校 文教大学付属図書館長 宮内 保  
挨拶 会長校 中京大学図書館長 長谷川 端  
挨拶 会場校 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンター(図書館)長 岩村 和夫

議長選出 司会者(会場校) 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンター 君塚 三智子  
開会宣言 議長 昭和女子大学図書館事務部長 上田 友彦  
部会成立状況 部会総会の成立に必要な校数は、加盟215校の過半数=108校以上となっており、出

席校:72校(出席者:123名)、委任状提出校:136校、合計208校で、部会総会  
は成立した。  
欠席校:7校

新規加盟予定校紹介 嘉悦大学 田中 周子  
共栄大学 茂木 代美  
浜松大学 (当日欠席)  
松本大学 (当日欠席)  
天使大学 (当日欠席)  
田園調布学園大学 (当日欠席)  
埼玉学園大学 (当日欠席)  
ものづくり大学 (当日欠席)

議 事

I 報告事項:

- 2001年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告  
部会会務報告については、部会長校文教大学(戸田)より、資料(p.3-15)に基づき報告された。  
また、2002年度次期役員校選考委員会についても同じく文教大学より報告された。  
研究部活動報告については、研究部担当理事校亜細亜大学(青島)より、資料(p.16-21)に基づき報告された。
- 2001年度協会関係報告  
協会会務報告、国際図書館協力委員会報告、協会ホームページ委員会報告が、会長校中京大学(加藤)より、資料(p.22-35)に基づき報告された。  
補足(西地区新規加盟予定校追加):星城大学、大阪明浄大学、羽衣国際大学、岡山学院大学  
補足(西地区加盟館名称変更追加):名古屋外国語大学附属図書館  
→ 名古屋外国語大学名古屋学芸大学図書館  
豊田工業大学附属図書館 → 豊田工業大学総合情報センター  
資料訂正(p.35):第19回大学図書館研究集会運営委員会 → 第19回大学図書館研究集会企画委員会
- 2001年度協会関連報告  
国公立大学図書館協力委員会報告、日本図書館協会大学図書館部会報告、第18回大学図書館研究集会運営委員会報告、第87回全国図書館大会第3分科会(大学図書館)報告が、会長校中京大学(加藤)より、資料(p.36-41)に基づき報告された。

以上、報告事項1. ~3. について、拍手で承認した。

II 協議事項:

- 2001年度東地区部会決算報告  
部会長校文教大学(戸田)より、資料(p.42)に基づき報告された。
- 2001年度東地区部会研究部決算報告  
研究部担当理事校亜細亜大学(青島)より、資料(p.43)に基づき報告された。

3. 2001年度東地区部会監査報告  
監事校明治大学(折戸)より、東地区部会決算および東地区部会研究部決算について監査結果が報告された。

以上、協議事項1. から3. について、拍手で承認した。

4. 2002年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)  
部会長校文教大学(戸田)より、資料(p.44-45)に基づき提案された。

5. 2002年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)  
研究部担当理事校亜細亜大学(青島)より、資料(p.46-47)に基づき提案された。  
これについて、以下の要望と質問があった(東海大学三井氏)。  
要望:分科会設置基準の変更については部会総会資料として公示してほしい。  
→(研究部)公示する。  
質問:分科会助成金の割増助成金の「140名」の基準日はいつか。  
→(研究部)原則として4月1日現在の分科会参加人数。最終的には研究部運営委員・分科会代表者合同会議(5月)で決定する。  
質問:上記割増助成金の対象はどのような会員か。  
→(研究部)私立大学図書館協会加盟校の所属者。会員区分については「研究分科会マニュアル」に明文化した。  
補足(研修会テーマ):第1回「電子ジャーナルの現況と図書館コンソーシアム」  
第2回「読書、出版、流通の現在と大学図書館」

以上、協議事項4. 5. について、拍手で採択した。

III 承合事項  
提出なし

IV 懇談事項  
提出なし

V その他

ア、ILL料金一括清算処理についてのアンケート結果について  
部会長校文教大学(戸田)より、資料(p.71-74)に基づき報告された。この結果を踏まえ、今後その仕組みが検討されるということを確認した。また最終集計結果については、東地区部会ホームページで公開する。

<ILL料金一括清算処理の仕組みについての補足>

骨子:参加館が、1ヶ所に対して1回の処理(料金の支払いまたは受け取り)で済む仕組み。

条件:1)NACSIS-ILLのデータを使用する必要がある。

2)業務を委託できる事務処理機関が必要である。

質問:『NACSIS-ILLユーザー会(以下「ユーザー会」)』があるのに、別の団体を設立するということか?(アンケート回答より)

→ そういうことではない。ユーザー会幹事館(東邦大学医学メディアセンター)との間で、現行の方法を踏まえた上で、一括清算ができる仕組みにする方が望ましいという点で意見

がー

致している。ユーザー会参加館、当協会加盟校が参加しやすい方法を考えていく。

イ、協会運営についての意見(法政大学阿久津氏)

私立大学図書館協会の業務内容と作業量について、「普通の大学」が「普通」のやり方で運営できる形に

できないか、今後規約の見直しを含めて問題提起していきたい。

→(議長)貴重な意見として受け止め、役員校間で今後検討してほしい。

閉会の辞 司会者(会場校) 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンター 君塚 三智子  
以上